



2026年4月14日に親貝の調査と海洋環境調査を実施しました。以下の内容は4月14日現在の状況を記載しています。

● 水温は昨年よりも低く、平年を上回る

現在、水温は昨年よりも低いですが(図1、表1)、平年を上回りました(表1)。今後、水温上昇に伴い、産卵が進むとみられます。

● 餌料環境は平年並み

4月のホタテガイの餌量の指標であるクロロフィルa濃度は平年並みで、昨年と一昨年よりも高い状況です(図2)。

● 生殖巣指数GSIは平年並み。親貝は急激に成長

4月の生殖巣指数GSIは平年並みで、昨年や一昨年のように低下していません(図3)。親貝の貝柱重量は3月まで平年を下回っていましたが、良好な餌料環境によって平年並みの重量まで回復しました(図4)。

図1 ブイ水温

昨年よりも低い。順調に上昇中。

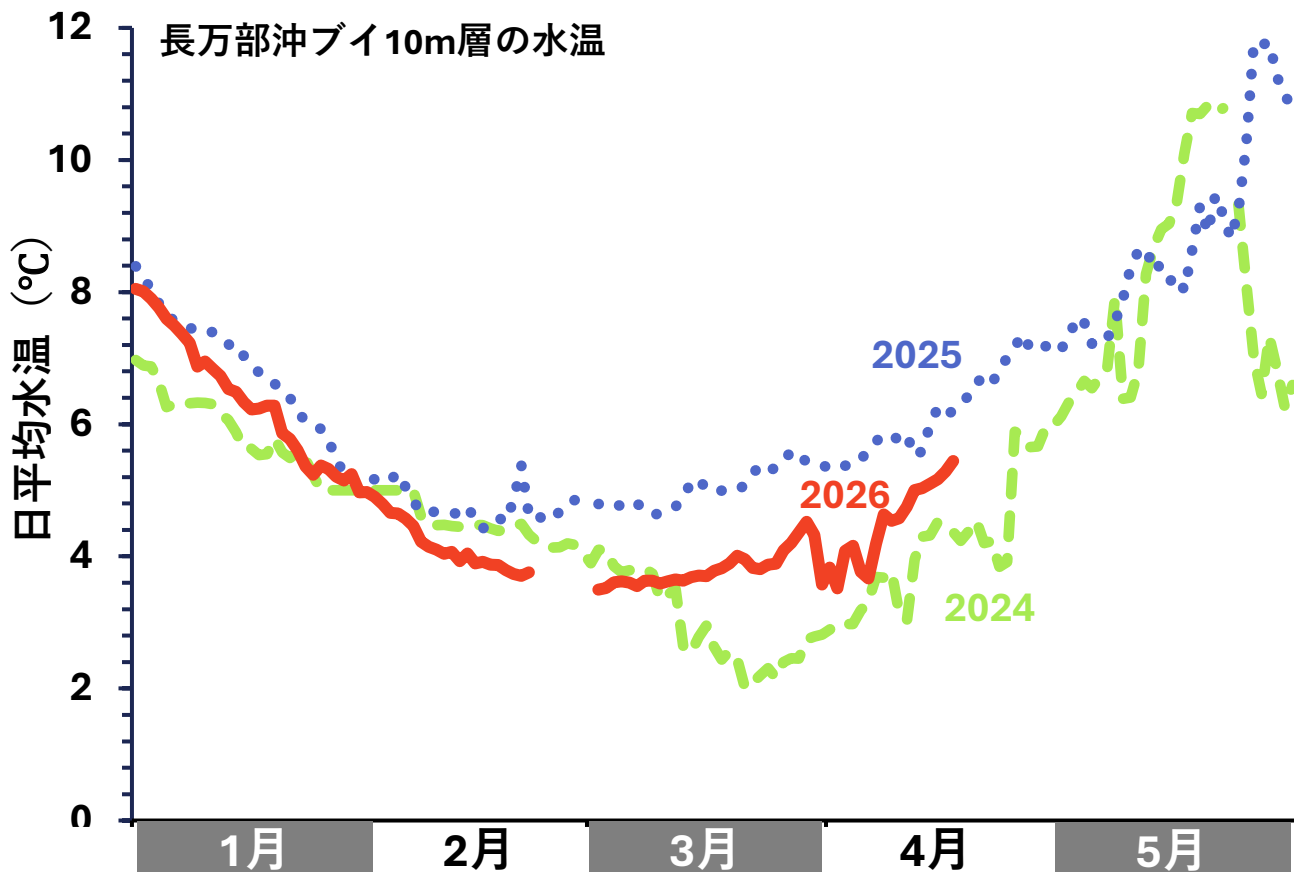


表1 月別水温

4月は平年並みの水温。昨年よりも低い。

八雲沖3マイル定点の5、10、15m層平均水温（単位：℃）

月	平年値 1991-2023年	2024年	2025年	2026年
1月	4.9	5.7	6.2	5.9
2月	3.3	4.2	4.6	3.8
3月	3.0	3.8	4.6	3.9
4月	4.5	3.9	6.8	4.9
5月	7.8	5.9	8.8	

図2 クロコケ濃度

昨年、一昨年よりも高く、平年並み。

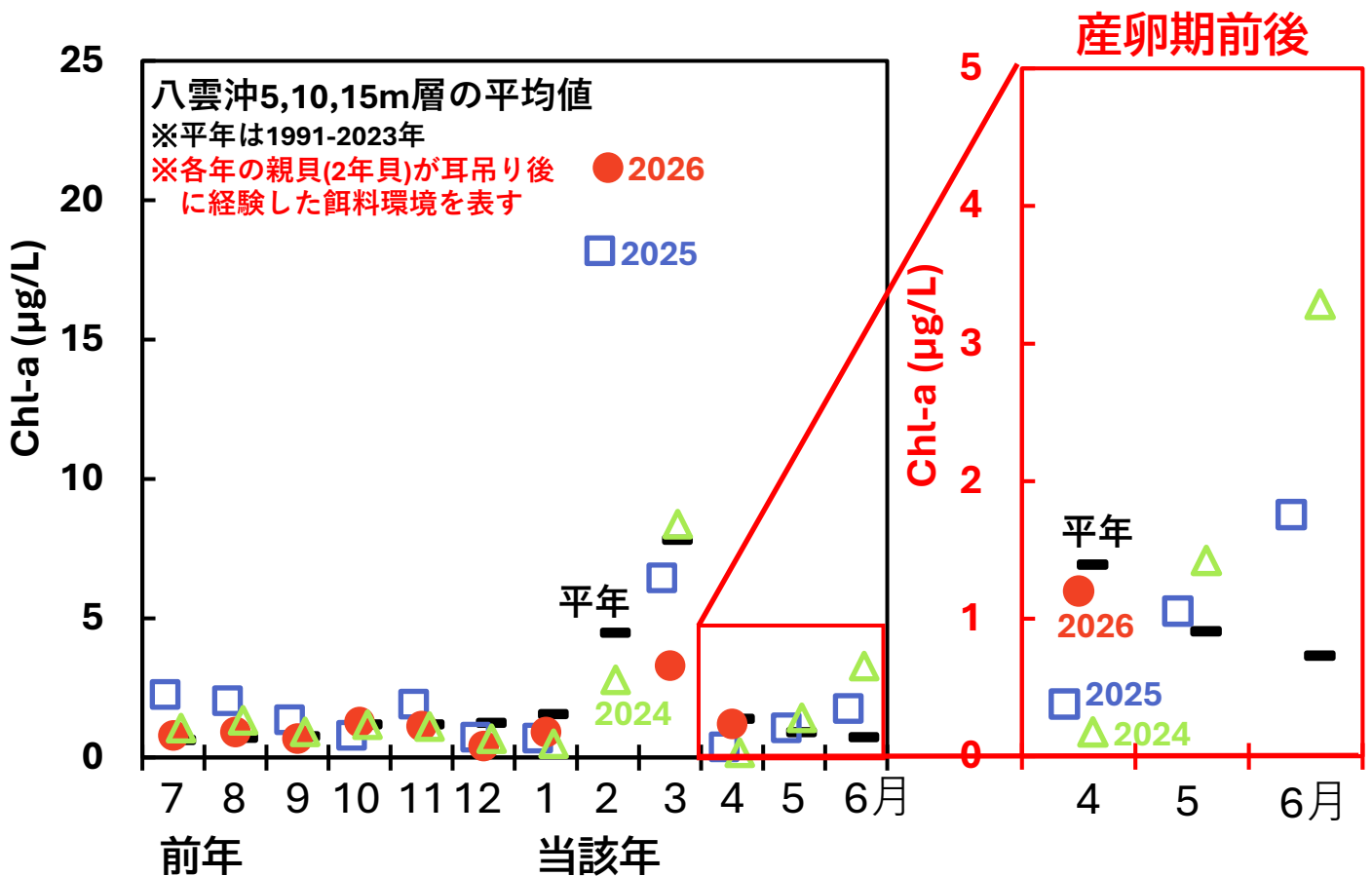


図3 親貝のGSI

平年並みの成熟。

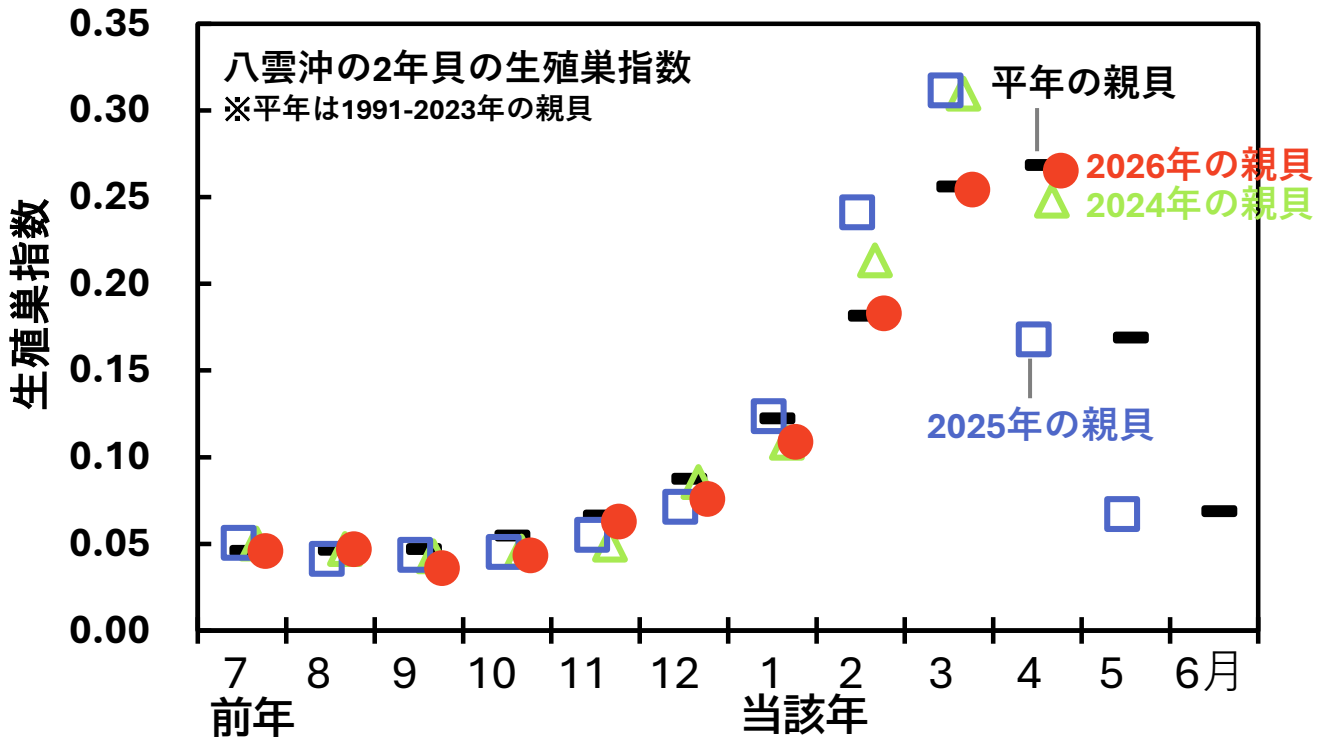
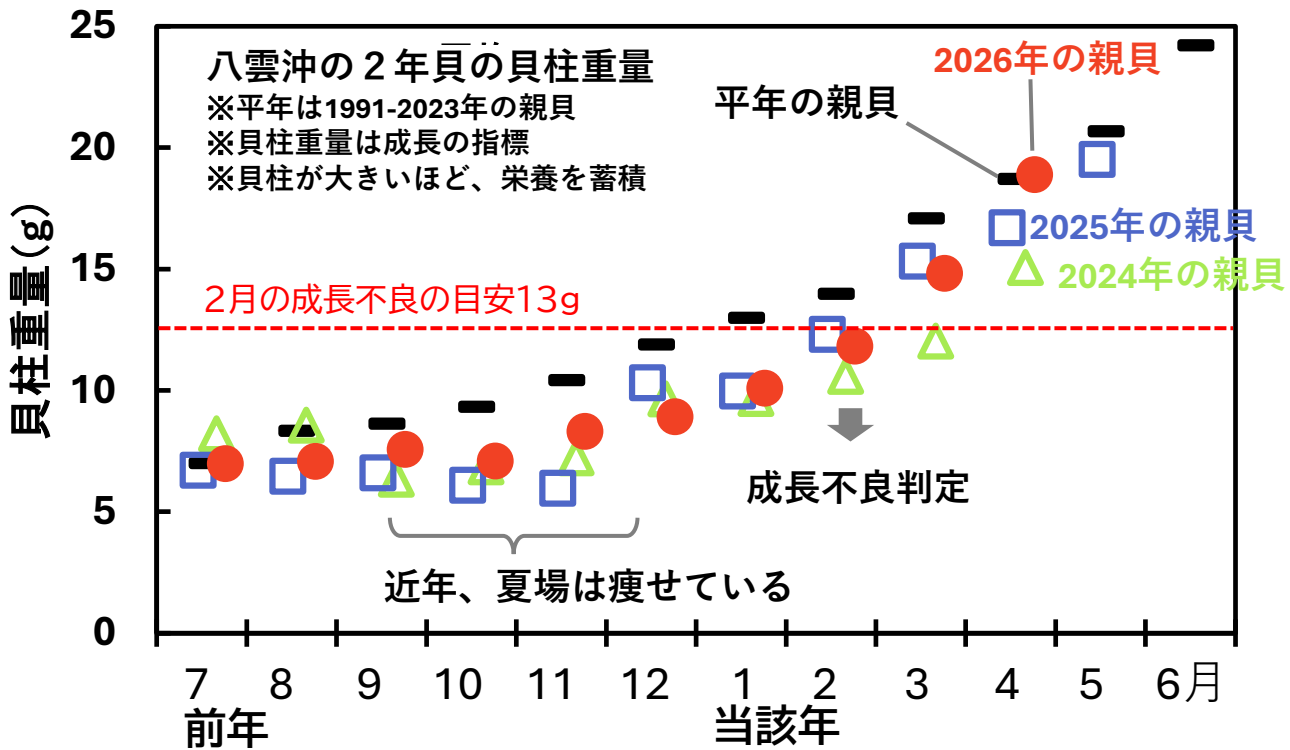


図4 親貝の貝柱重量

平年並み。急激に成長



今後の予定

4月20日の週に金星丸による全湾ラーバ調査結果を配信予定です。